

単元 資質・能力	実施時期																質的ルーブリック（判断基準）									
	1 学期						2 学期						3 学期						考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)					
	随想一 読書のススメ他	小説一 羅生門	表現一 話し合い	古文入門 宇治拾遺物語	物語一 竹取物語	漢文入門 訓読・成語・格言	故事成語 漁夫の利・蛇足	評論一 水の東西	詩 サーカス他	小説二 清兵衛と瓢箪	短歌・俳句 その子二十他	物語二 伊勢物語	史話 鶏口牛後	漢詩 静夜思・送元二使安西他	和歌 万葉集・古今集・新古今集	評論二 なぜ私たちは労働するのか	小説三 みどりのゆび	評論三 言語は色眼鏡である				表現二 情報を読む	随筆 徒然草	史話 先従隗始	日記 土佐日記	思想 論語・孟子
1 話す力・聞く力① ・話題について自分の考えを述べるができる。 〈話す力〉			○															○	○					話題について自分の考えを述べる。	話題について根拠にもとづいて自分の考えを述べる。	話題について様々な視点から根拠を示し、自分の考えを分かりやすく述べる。
2 話す力・聞く力② ・目的に応じて的確に話を聞き取ることができる。 〈聞き取る力〉			○													○			○					他者の話を正確に聞く。	目的に応じて他者の話を的確に聞き取る。	目的に応じて他者の話を的確に聞き取り、それを自分の考えや表現に生かす。
3 話す力・聞く力③ ・工夫しながら話し合いを進めることができる。 〈話し合う力〉		○	○					○		○		○		○		○	○	○			○		○	相手の話を聞いて話し合いを進める。	相手の立場や考えを尊重し、意見を交えながら話し合いを進める。	相手と自分の立場をふまえ、相互の考えが深まるように話し合いを進める。
4 話す力・聞く力④ ・交流した内容を適切に評価することができる。 〈話を評価し活用する力〉			○																○					自分の考えと他者の考えを比べる。	自分の考えと他者の考えを比較し、その違いを理解する。	自分の考えと他者の考えの違いから課題を分析し、自分の考えに生かす。
5 書く力① ・目的に応じて工夫して書くことができる。 〈文章などを書く力〉	○								○	○	○	○			○			○						目的に応じて書く。	目的に応じて題材を選び、文体や語句を考えて書く。	目的に応じて適切な題材を精選し、文体や語句、構成、展開などを工夫ながら書く。
6 書く力② ・自分の考えを論理的に文章にまとめることができる。 〈文章にまとめる力〉								○								○			○	○				自分の考えを文章にまとめる。	自分の考えの論拠を明確にして文章にまとめる。	自分の考えの論拠を明確にし、予想される反論をふまえながら文章にまとめる。
7 書く力③ ・対象を適切な表現の仕方を考えて書くことができる。 〈文章で伝える力〉		○			○					○							○					○		書く対象に適した表現を考えて書く。	書く対象に適した効果的な表現の仕方を考えて書く。	書く対象の特性からより効果的な表現の仕方を工夫し、自分らしい表現を探究する。

別紙様式 2 - ②

8 書く力④ ・書いた文章を適切に評価することができる。 〈文章を評価し活用する力〉		○												○				○							自分の表現と他者の 表現を比べる。	自分の表現と他者の 表現の違いを理解す る。	自分の表現と他者の 表現の違いから課題 を明確にし、自分の表 現に生かす。
9 読む力① ・表現の特色に注意して文章を理解することができ る。〈文章を理解する力〉				○	○																				文章の形態に応じて 読む。	文章の形態に応じ て、その内容と表現 を関連づけながら理 解する。	文章の形態に応じて、 その内容と表現を解 釈したり批評したり する。
10 読む力② ・文章の内容を的確に読み取ることができる。 〈文章を読み取る力〉	○	○		○		○	○						○			○		○		○	○		○		文章を叙述に即して 読む。	文章の叙述の内容を、 部分と全体関係 から理解する。	文章の叙述を要約し たり、テーマを考え たりして検討し、自 分の考えを発展させ る。
11 読む力③ ・文章を表現に即して読み味わうことができる。 〈文章を味わう力〉		○						○	○	○	○	○	○	○		○						○			文章を表現に注意し ながら読む。	文章に描かれた人物 や情景、心情などを 読み取る。	文章に描かれた人物 や情景、心情などを 読み取り、表現の特 徴を評価する。
12 読む力④ ・文章を適切に評価することができる。 〈文章を評価し活用する力〉	○	○						○	○					○			○								文章を読み比べる。	文章の内容や表現の 仕方を比較する。	文章の内容や表現の 仕方を比較しながら、 書き手の意図を考 察する。
13 知識を理解し活用する力① ・言葉の特徴やきまりについて理解し活用することが できる。（知識を活用する力）				○	○	○	○				○	○	○	○	○					○	○	○	○		文法や仮名遣い、訓 読のきまりなどを理 解する。	文法や仮名遣い、訓 読のきまりにそって 文章を読む。	文法や仮名遣い、訓 読のきまりによって 文章を読み、国語の 特性と課題を探究す る。
主な学習活動（協議，討論，発表等）	講 義	協 議	討 論	講 義	発 表	講 義	創 作	協 議	講 義	協 議	創 作	発 表	講 義	講 義	協 議	協 議	協 議	協 議	発 表	講 義	協 議	創 作	討 論				

意欲・態度，価値観・倫理観	考え・基礎知識 (Ideas)	つながり (Connections)	応用・ひろがり (Extensions)
1 意欲・態度① ・国語を通して多様な人々と交流し、伝え合う力を高めながら相互に理解を深めていこうとする。	国語を通して自分の考えを他者に伝えようとする。	互いの立場を尊重しながら、国語を通して自分の考えを工夫しながら伝えようとする。	互いの立場を尊重しながら、国語を通して自分の考えを工夫しながら伝え、相互の理解を深めていこうとする。
2 意欲・態度② ・本や文章を読むことで、自らの課題を発見し、その解決に向けて様々な情報を利用しようとする。	本や文章を読んで必要な情報を手に入れようとする。	幅広く本や文章を読んで様々な課題を見つけ、その解決に向けて情報を手に入れようとする。	本や文章の情報を利用しながら、様々な課題を見つけたりその解決に取り組んで自分の生活を豊かにしようとする。
3 価値観・倫理観① ・国語を尊重し、国語の向上を図る。	国語の特性や価値を知る。	国語を外国の言語と比較しながら、その特性や価値を理解する。	国語を外国の言語と比較しながら、その特性や価値を理解し、自分の見方や考え方に生かす。
4 価値観・倫理観② ・伝統的な言語文化への興味関心を広げる。	国語の成り立ちや変遷を知る。	国語の成り立ちや変遷を理解することで国語の果たしてきた役割を理解する。	国語の成り立ちや変遷を知ること、国語の果たしてきた役割を理解し、様々な作品についての関心を広げる。